

2022 年 八戸西ロータリークラブ会報

国際ロータリー第 2830 地区

 RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)
 ガバナー 田中 常浩 (むつ RC)

第 240 回例会

 日時：2022 年 10 月 13 日 (木) 於：八戸プラザホテル 18:30 ~ ▶司会 村岡徹弥 SAA
 ▶ビジター なし ▶ゲスト なし ▶四つのテスト 工藤良弥

 四つのテスト 唱和
 工藤良弥 会員

 出席報告
 竹本洋子 会員

 表彰状 授与
 尾崎雅子 会員


今回のお弁当

会長要件 (小林周子 会長)



10 月の初め頃、運動会があったのですが、練習をしている時から考えさせられたことがありました。コロナになってから丸 2 年以上まともな行事をしたことがなくて、やっと今年は保護者様を迎え入れて普通の行事をやるのが出来ました。運動会ですからまず整列すること、手を振って足を上げて行進することの練習から始めたのですけれども、びっくりするほど子どもたちが出来なかったのです。整列というのは集団で集まることですね。それを今までさせていなかったの、縦横並んでというのが出来ない。行進をさせようとしたら、行進って何？という感じですね。それが今までになかったことで、これまで毎年時期になると繰り返し練習することで、何となく身に付いていたものなんだと感じ、丸 2 年間何もなかったことによって子どもたちは行進すら出来なかったというのに驚かされました。もう 1 つ、私の園ではドラマーチをやっているのですが、それも 2 年間全くやっていなかったの、例年だと何となく叩けるところから始まるのですけれども、全く叩けない。2 年間先輩たちの音を聞いていなかったの、リズムを刻むことが出来ないのです。日常の中で色々な行事をやって身に付いていく、そういうことが丸 2 年間断ち切られた状態だったということが本当に驚かされました。そういうことを思えば、伝統的なお祭りをやっている方々は、これからお祭りをさて始めましょうという時に、スムーズに出来なくなるのかなということも考えさせられました。2 年間、何もしなかったという恐ろしさを今しみじみと身に染みて感じております。

伝統文化というのは祖父母から孫に伝えられると言われてます。なぜかというと昔は 3 世代同居が多かったですから、働いている父母の代わりに祖父母が教えていたという時代が続いていたと思うのです。私からすれば、子どもたちは孫・ひ孫の世代です。ですので、日常からそういうことを細かく子どもたちに教えていかなくてはいけないのかなと思っております。日本の伝統文化、といえども大げさですけども、例えば神社へのお参りの仕方とかを教えるようにしております。次の世代に伝えるということは大事だなと思わされた今日この頃でした。

また、国際ロータリー 2830 地区から週報優秀クラブとして表彰されましたので、公共イメージ・広報副委員長の尾崎様に表彰状を授与いたします。※上段の写真をご覧ください

誕生日祝い



関川文子会員 (8 月 19 日生)

お久しぶりに参加出来ました。ありがとうございます。おかげさまで元気で仕事出来ることに心より感謝申し上げます。仕事の方面では非常に変化に富んだ 1 年でした、先月まではコロナの給付の仕事に追われました。最近では為替の変動で保険料が非常に変動しており、その対応に追われる日々です。逆に米国の金利も非常に上がっていますので一時払いの商品も人気があり、常に変化に追われていて目まぐるしいですけれども、そんな中でも変わらない大事なものはあるのでそれを探して日々頑張っています。引き続きよろしくお願い致します。



滝沢良子会員 (10 月 20 日生)

素敵なプレゼントいただきありがとうございます。1 年間は本当あっという間です。ハーモニー歯科医院の近隣に新しく開業した 2 件の歯科医院があります。コロナ禍で不安もありましたが、相変わらず沢山の患者様が来院してくださりとて嬉しです。工藤威美子初代会長より最初からお力添えを頂き安心して診療ができました。不安がないということは本当に嬉しいことです。これからも謙虚な心を持ち、患者様の笑顔に会えるようにしたいと思います。次に感動したことと言えば、父が生前、庭にバラを 20 本以上栽培しておりました。私はバラを育てる大変さが分かり遠ざかっておりましたが唯一私にローラというバラの名前を教えてくださいました。フランスの大輪のバラで、色はオレンジ色です。今そこになく、探していましたがなかなかありません。ところが先日、花巻のバラガーデンに行った時、ローラのバラが私の方を向いているではありませんか。あの数のバラの庭で見つけたことは奇跡としかありません。感動しました。心は繋がっていると感じた瞬間でした。

幹事報告 (畠山徳陽 幹事)



・10/29 みよし農園にて収穫祭 12:30 ～スタート予定

昼食は天丼ですが希望する人には倉石牛の牛丼も可 希望の方は蛇口さんまで

今日は普段なかなか来られない方が何人かいらっしやっていて会えて嬉しいなと思っております。報告ではないですが、気持ちの小さい独り言だと思って聞いてください。この前ネットで、コロナ禍になってから席が空いているのに隣に来たり、新幹線とかで席がいっぱい空いているのに隣に来たりというのすごく気になるという話が出ていて、隣に気も遣わずに来る人のことをトナラーというみたいです。こっち側はなんで隣に来るの？という感じなんですけれどそういう人は全然気にしないみたいです。私はここの席に座りたかったというので一切相手への気遣いという思考回路はないそうです。それも含めて、私がこの前ジャスコに行った時の話ですが、私は車を傷つけられたりするのが嫌なので遠くに停めて歩いていくので、その時も遠くに停めていました。そうしたら周りがいっぱい空いているのに隣に停まった奥様がいたんですね。記事を読んで間もなかったの、なんで隣に停めたんですかと聞きたくて、聞いたんですよ。すると「私、線を見て停められないんです、目印は隣の車なんです。」って。そういうちゃんとした理由があって停めるんだと、人それぞれ事情があるんだなあと思って話を聞きました。でもあまりにも近かったの、奥様が買い物に出かけた後、私はまた違うところに停めたというお話しでした。終わりです。

出席報告 (竹本洋子 会員)

会員総数 36 名 出席者数 14 名 オンライン出席者数 4 名 計 18 名 出席率 50%

ニコニコボックス (川市由紀子 会員)



小林 周子 会 長：日暮れが早くなり何となく1日が短くなった気がします。寒さも増していくので寂しい限りです。

畠山 徳陽 会 員：食欲の秋到来です。今年はサンマがちょっと良いみたいです。楽しみです！

大島 泰雅 会 員：今晚も宜しくお願いします

松田 郁子 会 員：本日は急遽お休みさせていただきます。

村岡 徹弥 会 員：本日も宜しくお願いします！

蛇口 和憲 会 員：感謝をずっと 笑顔をもっと

工藤 良弥 会 員：コロナ感染がまた増えてきました。心配です。7波で感染しました。もう感染したくないんですけど。

島浦 理 会 員：小林会長、畠山幹事地区大会お疲れ様でした。今回初めて不参加の年となってしまいました。大変申し訳ございません。

滝沢 良子 会 員：お久しぶりです。大分秋らしくなって参りました。風邪をひかない様に注意しましょう。宜しくお願いします。

竹本 洋子 会 員：今日は爽やかな少し寒い日の中ビッチリとオンライン研修でした。本日も宜しくお願い致します。

関川 文子 会 員：今日も元気に感謝です。

尾崎 雅子 会 員：本日宜しくお願いします。

杉本 勉 会 員：皆さんこんばんは。20年ぶりにメガネの度数を変えました。乱視が強くなったと言われました。

川市由紀子 会 員：感謝を忘れずに1日1日を大切に、平和に暮らしたいですね！

会員卓話 (大島泰雅 会員)



先日インターアクトクラブについて、そろそろやらなければならないのではないのでしょうかと畠山様からお話をいただきまして、私も少しこのクラブの中で先立ちをしなければならぬような立場のような気がしますので、工大一高の生徒の皆さんに何を伝えればいいのかなんていうことを考えていました。そんなことを考えながら新聞を開いておりましたら、若者の消費動向を探るというタイトルが出てきて、若者は今2つの言葉で動く。コスパ、あともう1つはタイパ。これはタイムパフォーマンスというそうです。なんでも時短時短で最大の効果を得る、というのがあって、映画を倍速で見るというのがあります。Z世代の人たちにはコスパ・タイパこれがもう流行りなんだそうです。

Z世代の人たちは、ネットが物心ついたときから周りにある世代なので、自分だけの空間と時間を自由にコントロールできる環境が周りにあるということで必然的に子どもたちは楽な方に行き、自分の好きな時間の使い方に慣れてしまっていると。世間一般との煩わしい直接的な接触を厭うような環境になってしまって、ただただインスタを見たりTikTokを眺めて横になってという生活に慣れてしまっているということが多いそうです。但し、非対面の空間で、自分の存在感をアピールしたがる世代で、自己顕示欲の欲求が非常に強いという特徴があるようです。自己顕示欲の欲求を強くする準備として、世間一般の最新話題についていくために、時短時短で映画を見てみたりコスパを追求するんだそうです。自己顕示欲を高めながら有意義に過ごす為に、だらだらとスマホを眺めている時間があるという状況を新しい造語で、時間を溶かしていると言うようです。時間を切り詰めて何か新しいことをしようというわけではなく、ただ心地よい環境にするために、スマートフォンを眺めて新しい情報を得るのです。今の高校生はまさにその時間を溶かしている世代ですので、じっくり時間をかけて物事を考えることを疎う世代であり、必然的に継続することに耐える力・我慢する力が育まれない生活を送っているのではないかなと思います。勉強でもスポーツでも自分で努力してその結果で得る上下の優劣、その現実に向き合う機会に目を背けて逃げている子どもたちが出来上がっていく、努力・苦勞の結果得られる喜びを感じることにない子どもたちが増えてくるということです。そういった子どもたちに、インターアクトクラブを通して、こういう風に生きていこうと、いかに私等が喚起していけばいいのかということ、皆で考えていってはいかががでしょうか。ぜひただ単にボランティア活動をしてというだけではなくて、皆さんで何かお伝えするようなことを考えて高校生の皆さん、Z世代の皆さんと有意義な時間を過ごしていく活動ができればと思っておりました。皆さまご協力をお願いいたします。



・会 長 小林 周子

・幹 事 畠山 徳陽

・副会長 蛇口 和憲

・事務局 (株)STARS 内

・例会場 八戸プラザホテル TEL: 0178-44-3123

・例会日 木曜日(月3回) 第1・3 12:30～

第2 18:30～

〒031-0072 八戸市城下4丁目9-5

TEL: 0178-51-8642 MAIL: hwrc@stars.aomori.jp